



一 各隊先任者ハ直ニ後發連名簿ヲ後發隊長ニ提出スルコト  
 二 各隊後發者ハ眞紀風紀ヲ嚴正ニシテ集積物件、盜難、火災豫防  
 三 萬全ヲ期スベシ  
 四 外出ハ公用、他一切嚴禁ス  
 五 朝夕点呼ヲトリ具次有無ヲ必ズ報告スベシ  
 六 連絡兵ヲ本部(北谷國民學校)ニ常ニ差出シ置クモノトス  
 七 先任者ハ毎日自ラ連絡、為本部ニ出張スルモノトス  
 八 明日十七時迄ニ最少限ノ監視者ヲ殘置シ本部ニ集合スルコト

指示

百十五分(分)五二號別紙

12 部内

石十五分  
 各隊先任者ハ直ニ後發連名簿ヲ後發隊長ニ提出スルコト  
 二 各隊後發者ハ眞紀風紀ヲ嚴正ニシテ集積物件、盜難、火災豫防  
 三 萬全ヲ期スベシ  
 四 外出ハ公用、他一切嚴禁ス  
 五 朝夕点呼ヲトリ具次有無ヲ必ズ報告スベシ  
 六 連絡兵ヲ本部(北谷國民學校)ニ常ニ差出シ置クモノトス  
 七 先任者ハ毎日自ラ連絡、為本部ニ出張スルモノトス  
 八 明日十七時迄ニ最少限ノ監視者ヲ殘置シ本部ニ集合スルコト

一 使用員要領在  
 二 隊員要領在  
 三 隊員要領在  
 四 隊員要領在  
 五 隊員要領在  
 六 隊員要領在  
 七 隊員要領在  
 八 隊員要領在  
 九 隊員要領在  
 十 隊員要領在  
 十一 隊員要領在  
 十二 隊員要領在  
 十三 隊員要領在  
 十四 隊員要領在  
 十五 隊員要領在  
 十六 隊員要領在  
 十七 隊員要領在  
 十八 隊員要領在  
 十九 隊員要領在  
 二十 隊員要領在





石兵團會報參列ノ爲明七日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ師團司令  
ニ呈張ル命  
六 各隊ノ左記ノ通り明七日十時迄國場設營者ヲ差出シ本部  
石川准尉ノ指揮ニ入ラセバシ

本部下士官二兵一通信 作業小隊兵各一教育隊下士官  
一兵二ノマメノ附中隊兵各一ノ下士官各一  
石川准尉ノ各隊設營者ヲ指揮シ明七日十時出發國場  
附近ニ到リ部隊ヲ休止ノ設營ニ任スベシ  
設營者ノ服装ハ個人裝備ヲ完備シ履食ヲ携行スベシ

石九六日命第一三三號

會

報

十二月六日一六  
北谷國民學校

一 地圖ニ就キテ  
自今上司ノ報告モニ使用スル地圖ハ其指示ニ基キ二万五千分一  
地形圖ニヨルヲ本則トス  
中隊陣地ノ細部狀況報告ニ用フル地圖ハ申受配布ノ五千分一  
要圖ヲ複寫シ使用スルモノトス  
但シ中隊内限り使用スル地圖ハ中隊陣地ノ詳細圖ヲ調製  
スルハ此ノ限リニアラス

十二月七日	一日々命令	曇水曜	別紙石丸六日命第一四九號ヲ下達ス	北谷二	會報 別紙石丸大會第一三二號ヲ下達ス	玉城村	石十五作命第一號ニ基テ荷物輸送ノ為遠藤大尉以下一五五名後免隊トテ前防衛地ニ殘留ス 本部遠藤大尉以下一八名後免隊トテリ	後免隊	光	石川准尉ニ各隊設置者ヲ併ニ指揮シ國場村附近ニ於テ部隊大休止地設置ノ為一〇〇名光免ス	移駐	石十五作命第四七號ニ基テ三ノ梯田トテ一九	出	。平安山ノ上ニ免新防衛地ニ向シ免ス
-------	-------	-----	------------------	-----	-----------------------	-----	---	-----	---	---	----	----------------------	---	-------------------



勤勞六本目勤勞員	日直將校	奈良少尉
	巡警將校	小石原見習士官
	町警衛兵	渡尾隊
	監視哨	松島隊
現員七本目現員	人員	山本大佐以下七六名
	馬匹	日馬

(精養軒・東京)

石九六日命第一四九號

石第三五九六部隊日々命令

十二月七日 北谷國民學校

- 一 各隊ハ行軍ニ堪ハル者アラハ後發者外トシテ殘置シ部隊出發以後遠藤大尉指揮下ニ入ラシムヘシ
- 二 各隊ハ行軍ニ堪ヘサル者ノ官氏名病名ヲ本七日一五〇〇迄ニ後發隊長ノ下ニ提出スベシ
- 三 各隊ハ左記様式ニ基キ人馬一覽表ヲ本七日十三時迄ニ提出スベシ

人馬一覽表	十二月七日		
区分	兵	計	馬
區分	將校准士官習官		
下士官			
總員			
後發者			
行進不能(殘置者)			
其他			
行軍			
計			

四 山内前彈藥庫衛兵ハ現任務ヲ續行シ部隊出發以後後發隊長ノ指揮ニ入ルベシ

五 部隊衛兵、出發一時間前、撤去シ所屬ニ復歸スベシ

石九六會第一三一號

會

報



北二領國民學校

一 師團長八九日担任地区内ヲ巡視セラル豫定ナリ 報告資料トシテ左記

事項ヲ調査(判明セルモノニテ可ナリ)ノ上明八日一二日迄ニ本部(備

名簿)ニ提出スベシ

ノ既設陣地調査面々圖(ニテ五分ノ地圖使用)勉々詳細部ニ重リテ記

載例ハ、重機陣地ナラハ掩蓋洞屈ノ別其ノ進捗度(概成完成等)

又此ノ内利用出来得ルモノ、出来ザルモノ

2 築城材料申受高

3 部隊配宿要圖(ニテ五分ノ一使用)

4 防空壕ノ位置

5 民家ナラハ何軒 何人

6 收容力 全兵力何ノヲ收容シ得ルヤ

7 軍需品何ノヲ收容シ得ルヤ

十一月八日一

晴金曜

富名要

行動

前日ヨリ夜行軍ヲ以テ行動ニ大隊ハ。。。國場村ニ  
進出敵營者石川准尉以下ニ石ヲ當テ墮シ該地ニ  
於テ一時向火休止、後。四。。女籠。六。。富名要  
ニ到着石十五作命第五ニ號ニ基キ夫々新作戦態勢  
ニ轉移セリ

作戰命令ニ

対空海監視哨繼承態ニ配属ニ由シ別紙石十五作  
命第五ニ號ヲ下達ス

丙號戦備下令サル依ツテ大隊速カニ態勢ニ轉移  
ス石十五作命第五ニ號ヲ下達ス

情報

陣地構築ニ関シ別紙石十五作命第五四號ヲ下達ス  
父島附近敵艦情報ニ関シ別紙石十五情報第四  
七號ノ如シ



日、命令四衛兵服勞班、箱嶺連絡所開設、別紙石九六

日命第一五〇號ヲ下達ス

會報五別紙石九六會第一三二號ヲ下達ス

勤勞六本日、勤勞員

白直時枝 白石少尉

巡警時枝 橋中准尉

目下士官 濱口伍長

付務衛兵 茶良原

付空監視哨 伊藤原

付海監視哨 松島原

白直下士官 中西軍曹

現員七本日、現員 人員 山本大佐以下九四名

馬正 日馬 四

東京・八木岡橋

石十五作命第五五號

獨立歩兵第十五大隊命令

十二月八日。六三〇  
當名腰

一大隊、新防衛地區内ニ宿營ニ新作戰態勢ニ轉移ス

一本部各隊、設營者ノ誘導ニ依リ別紙要圖ノ如ク宿營ニ新

作戰態勢ニ轉移ス

第二中隊ハ速カニ付空監視哨(長以下五名)ヲ一九三高地武部

隊對空監視哨ニ差出シ對空監視ニ任セシムルヲ共ニ同勤務

繼承ヲ準備ス

責任轉移ノ時機ハ別命ス

四第三中隊ハ速カニ奧武島南海岸ニ對海監視哨(長以下五名)ヲ

配置シ對海監視ニ任セシムル

五通信班ハ速カニ大隊本部ノ對空對海監視哨及各隊間ノ有線